



column
window

実際の手洗いは？

栄研化学(株)微生物グループ 竹下康之

手洗いというのは日常的な行為であるが故に、個人による認識の違いがあります。また、日常生活環境で必要な手洗い、食品などの製造現場で必要とされる手洗い、また医療現場など高い無菌性を要求される現場での手洗いなど、目的によって考え方も異なります。

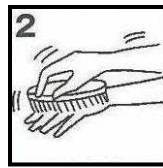
ただ、昨年は腸管出血性大腸菌感染症の大発生で、予防対策として手洗いが強調され、一般市民まで関心を持っていただいたことと思います。

どこまで念入りに手を洗えばよいのか、また、どのように洗えばよいのか、実際に役立つ情報がどこまで伝達されたのかは疑問ですが、まずはわずかなりとも認識は変わったのではないかと思います。

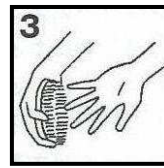
ここでは、平成8年8月28日に文部省体育局より通知された文体学第187号「学校における環境衛生管理の徹底について(通知)」の中の学校給食の衛生管理チェックリストより、実際の手洗い法を一例として抜粋し紹介します。



1 水で手をぬらし石けんをつける



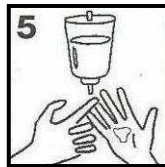
2 ブラシを使って指、腕を洗う



3 指の間と指先をよく洗う



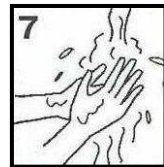
4 石けんをよく洗い流す



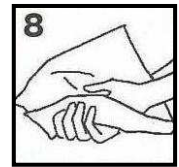
5 逆性石けんをつける*



6 2分以上手指をよくこする



7 よく水洗いする



8 ペーパータオル等よくふく

* 逆性石けんによる消毒法

- 市販されている逆性石けんは塩化ベンゼルコニウムの10%液で優れた殺菌効果を持っており、手指の消毒剤として広く用いられている。ただし、普通の石けんと一緒に使用すると効果がなくなるので、石けんを手を洗った後よく石けん分を落としてから用いる。
- 使用法は次のとおり。50倍希釈液を手に取り、2分以上こすりながら手指をまんべんなく消毒する。

逆性石けんの希釈法

区分	逆性石けん量(10%水溶液)	水量
50倍液	20mL	1L